

C館
C-311~314
利用手引き

第 1.0 版

2022 年 3 月 11 日
KUDOS 学生センター

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容	作成者	確認者	承認者
第 1.0 版	2022 年 3 月 11 日	初版	坂上	光本	太田

目次

1. C館 311~314 概要	1
1.1. 教室の場所.....	1
1.1.1. C館 3F フロア図.....	1
1.1.2. 教室レイアウト図.....	2
1.1.3. 床下電源コンセントの配置について.....	4
1.2. 教室設備について.....	5
1.2.1. 設備一覧(1教室).....	5
1.2.2. 床下電源コンセントの接続について.....	6
1.2.3. 学生机(可動式)について.....	6
1.2.4. 壁面ホワイトボードについて.....	7
1.2.5. 可動式ホワイトボード アクティバについて.....	7
2. コンピューターの利用について	8
2.1. コンピューターの利用.....	8
2.1.1. コンピューターの利用開始(サインイン).....	8
2.1.1.1. Windows 10 へのサインインについて.....	8
2.1.2. コンピューターの利用終了(シャットダウン).....	9
2.1.2.1. Windows(シャットダウン).....	9
2.2. アプリケーションの利用.....	10
2.2.1. IME(Input Method Editor)による言語の変更.....	14
2.2.2. 利用できるドライブ・ファイルサーバー.....	16
2.2.2.1. 各ドライブ(外部記憶メディア)の利用方法.....	17
2.2.2.2. ファイルサーバーの利用方法.....	18
2.2.3. 音声の利用(貸出ヘッドセット).....	19
2.2.4. 教員用 PC について.....	19
2.2.5. 留意事項.....	21
2.3. ドキュメントシステムの利用.....	22
2.3.1. KUDOS Print に対応した複合機の利用.....	22
2.3.2. KUDOS Print に対応している複合機の一覧.....	23
2.3.3. スキャナーの利用.....	23
3. 授業支援システム 概要	24
3.1. 画像・音声提示装置による各機能.....	26
3.1.1. 機器の配置図.....	26
3.1.1.1. 操作パネル・入力パネルの説明.....	27
3.1.1.2. ワイヤレスマイクの種類.....	27
3.1.2. システム電源の入れ方.....	28
3.1.3. プロジェクターの電源の入れ方.....	28
3.1.4. マイクを使用する.....	29
3.1.5. 教員 PC の映像・音声を出力する.....	29

3.1.6.	持込端末の HDMI 端子を使用し、映像・音声を出力する.....	30
3.1.7.	Miracast を使用し、映像・音声を出力する.....	30
3.1.8.	書画を使用し、映像を出力する.....	31
3.1.9.	教室統合.....	32
3.1.9.1.	教室統合の実施.....	32
3.1.9.2.	教室統合の分離.....	33
3.1.10.	システム電源の切り方.....	33
4.	補足資料.....	34

1.C 館 311～314 概要

●PC148 台設置（教員機:1 台、学生機:36 台）×4 教室

C 館 311～314 は、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワークなどによる課題解決型の能動的学習（アクティブ・ラーニング）に対応可能な教室として設計されています。

学生機は、稼働可能であり自由なレイアウトが可能です。

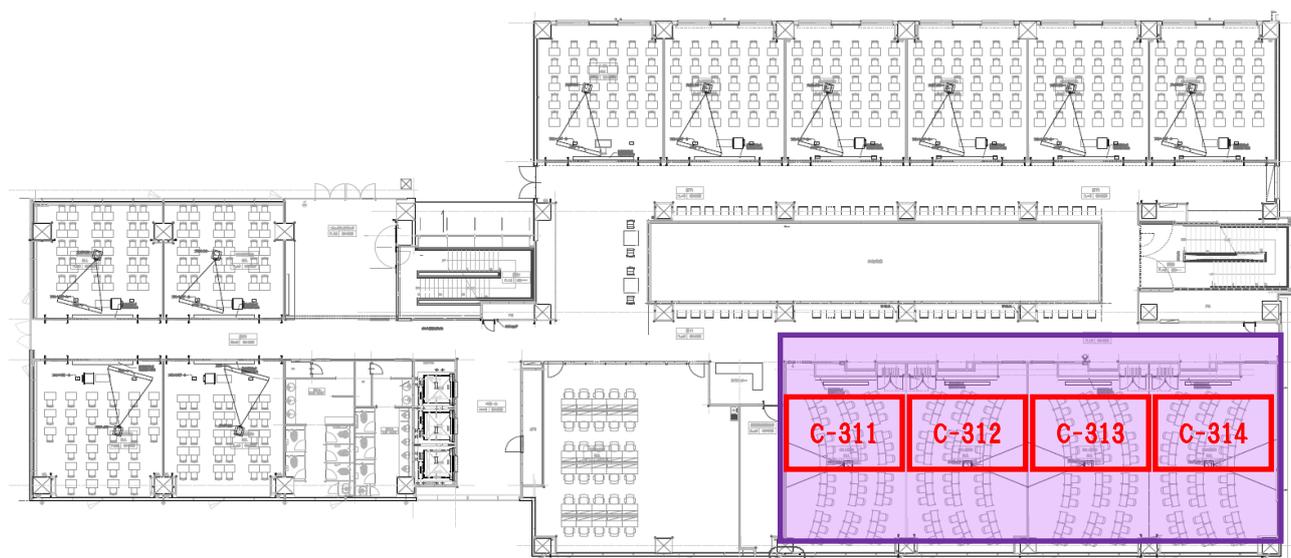
また、ノート PC が収納されており、従来どおり、PC 教室としての機能を有しています。

コンピューター端末は Windows 10 を導入し、最新のソフトウェアに対応した環境を実現しています。

教員機から学生機の状態を把握・操作支援できるよう授業支援システムも導入しております。

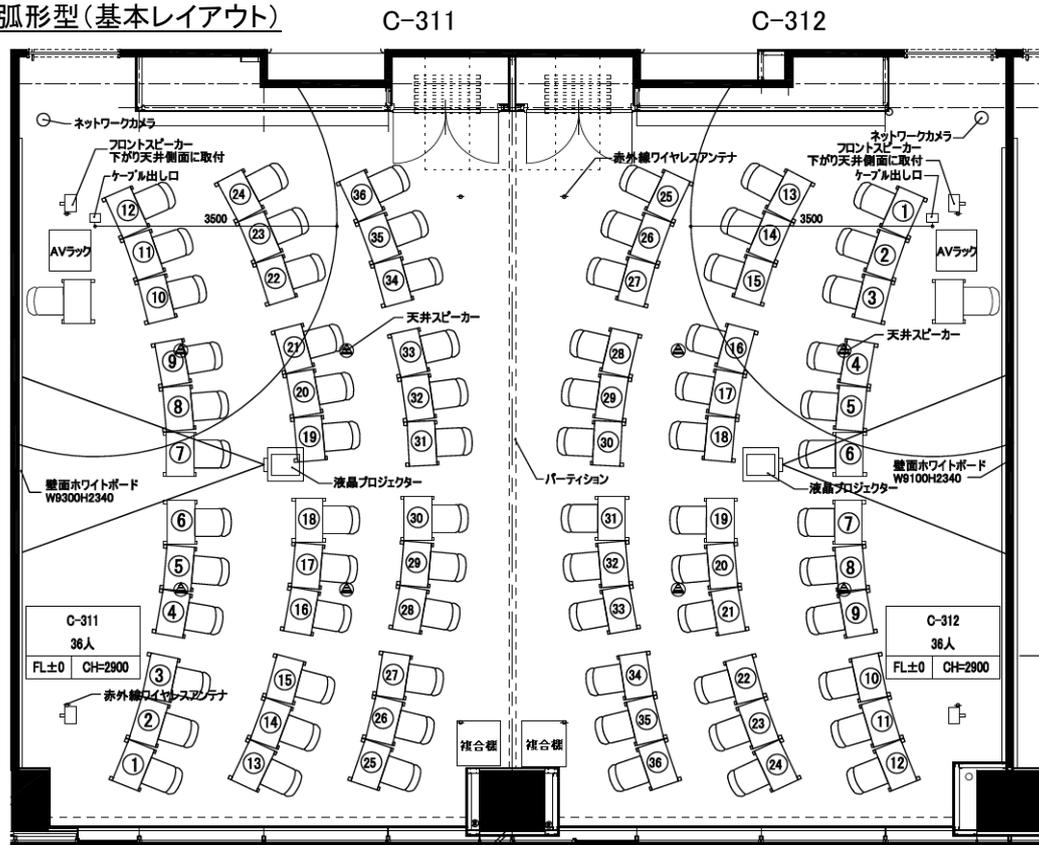
1.1. 教室の場所

1.1.1. C 館 3F フloor図

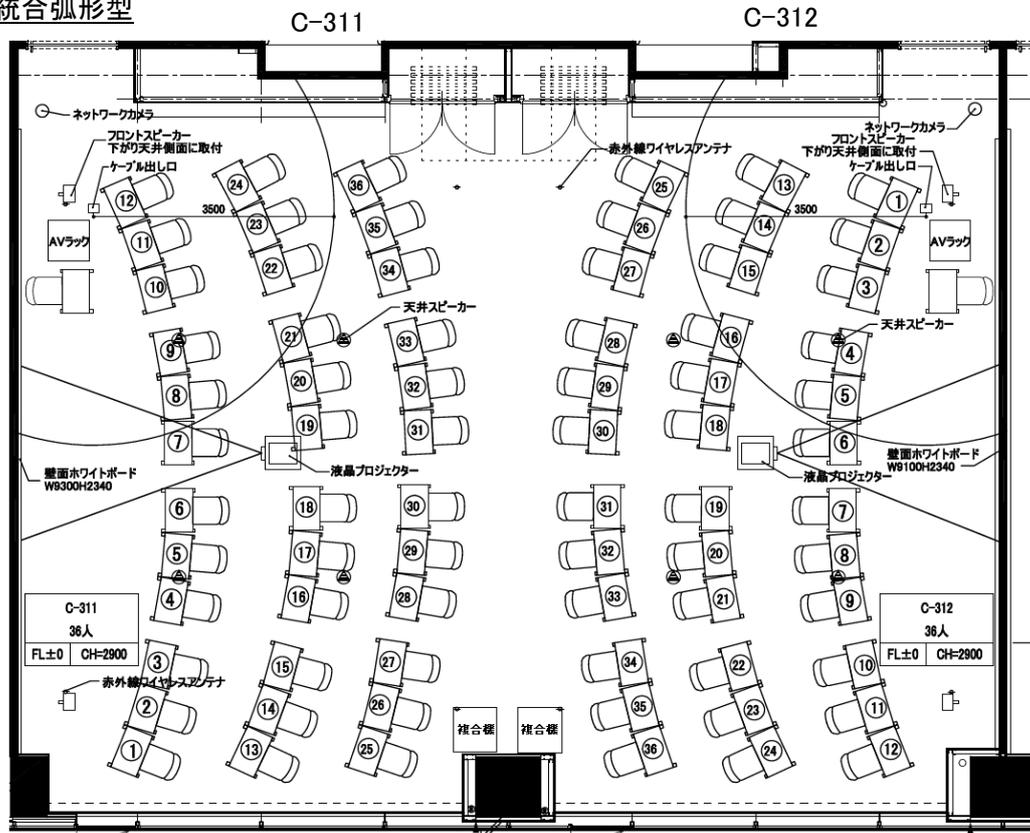


1.1.2. 教室レイアウト図

弧形型(基本レイアウト)



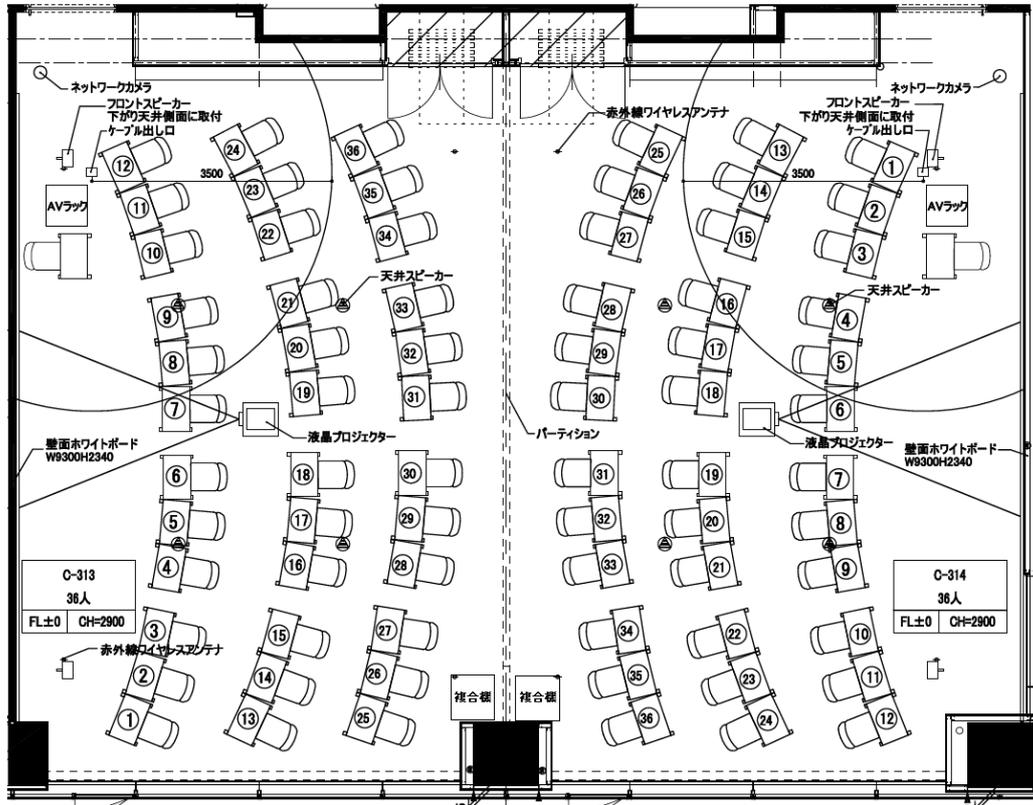
統合弧形型



弧形型(基本レイアウト)

C-313

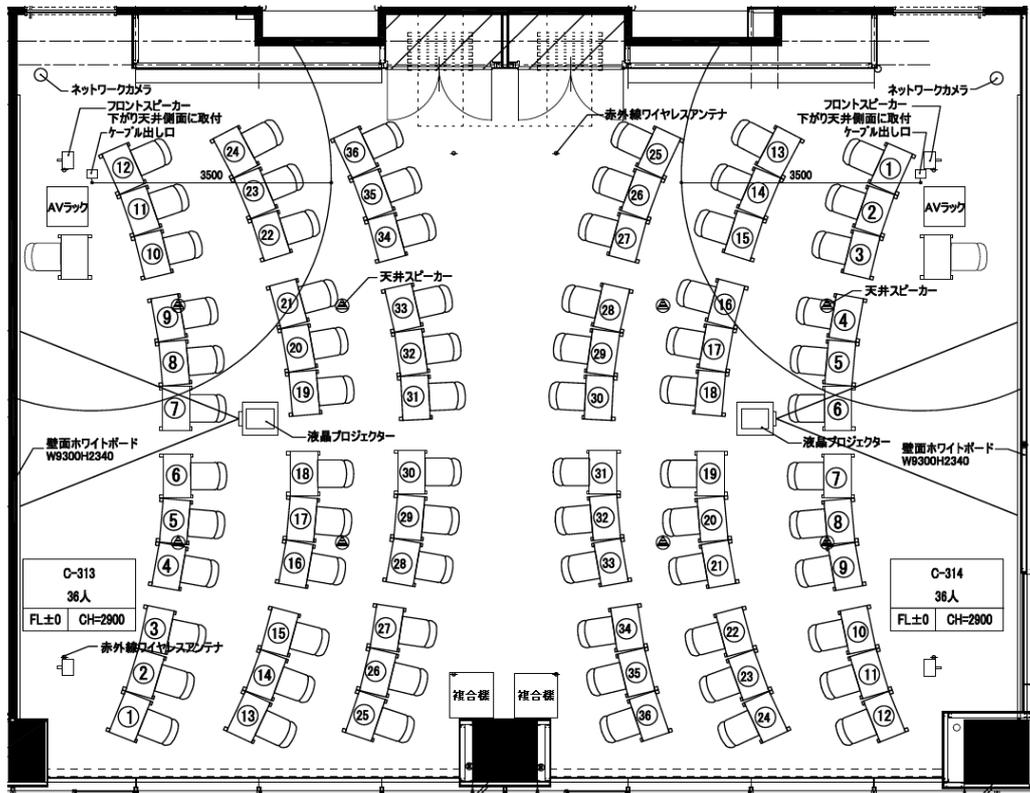
C-314



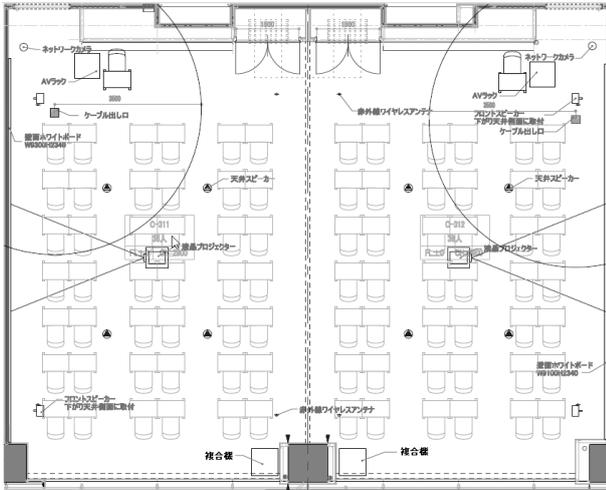
統合弧形型

C-313

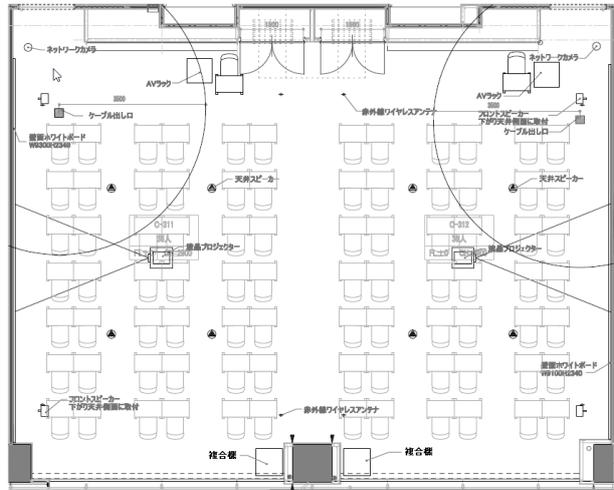
C-314



講義型



統合講義型

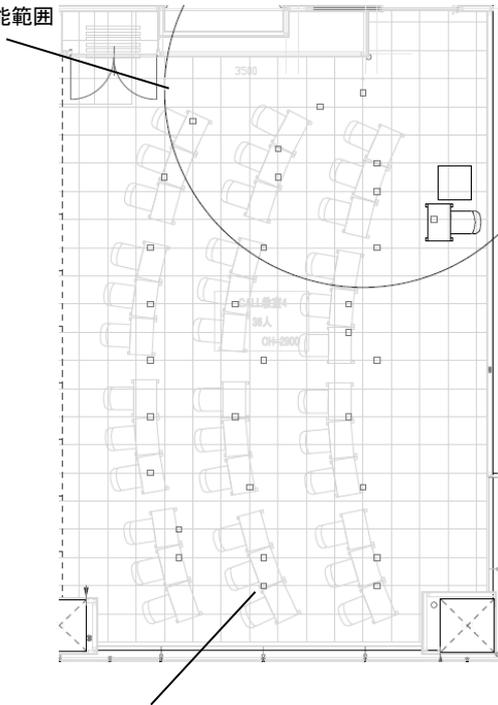


※レイアウト変更時は授業終了後、元の基本レイアウトに戻してください。
 (理由:授業支援システムのレイアウトにするため)

1.1.3. 床下電源コンセントの配置について

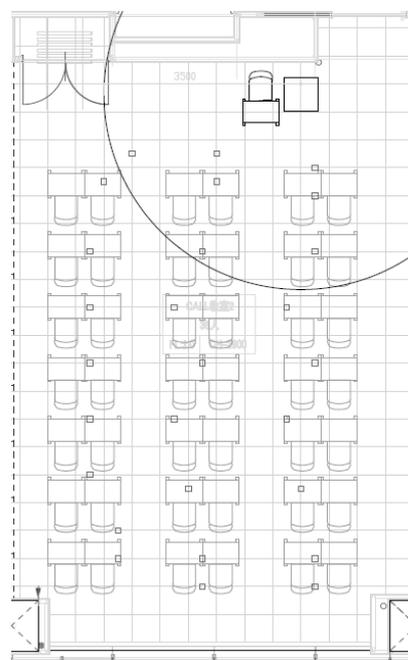
弧形型

AV ラック移動可能範囲



フロアコンセント位置

講義型



1.2. 教室設備について

1.2.1. 設備一覧（1教室）

名称	型番	数量
コンピューター(教員機)	HP ProDesk 400 G7 SF/CT OS:Windows 10 Education	1台
ディスプレイ(教員機)	PHILIPS 22 LCD monitor	2台
ポータブル BDドライブ	Logitec LBD-PVA6U3VBK	1台
コンピューター(学生機)	HP 250G7/CT Refresh Notebook PC OS:Windows 10 Education	36台
液晶プロジェクター	Panasonic PT-VMZ60J (WUXGA:6000lm)	1台
Miracast レシーバー	ELECOM LDT-MRC02	1台
デジタルマルチスイッチャー	IMAGENICS SL-U61	1台
デジタルミキサー	オーディオテクニカ AT-MX862	1台
デジタルパワーアンプ	Panasonic WP-DA112	1台
赤外線ワイヤレスマイク (ハンド型)	ATIR-T88	1本
赤外線ワイヤレスマイク (ピン型)	ATIR-T85	1本
システム制御器	特型	1台
AVシステム操作パネル	特型	1台
壁面ホワイトボード	青井黒板 映るんボード W9,300×H2,350	1面
可動ホワイトボード	アクティバ	8台
教員机		1台
教員椅子(可動式)		1脚
学生机(可動式)	特型	36台
学生椅子(可動式)		36脚
授業支援ソフト	CaLabo LX	1式
	瞬快 jyo(上)Ver.12	1式
床下電源コンセント		1式

1.2.2. 床下電源コンセントの接続について

床下電源コンセントは2口差し込みがあり、2台のPCの電源が接続できます。

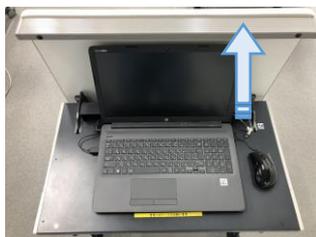


1.2.3. 学生机（可動式）について

学生机は上蓋を開けることにより、内蔵したPCを利用することができるようになります。



机を閉じている状態



正面 机を開いている状態



横

1.2.4. 壁面ホワイトボードについて

教室の壁面を活用した大型ホワイトボードにより、開放感のある講義が可能となります。
通常のホワイトボード利用に加え、プロジェクター用スクリーンとしても活用できます。



1.2.5. 可動式ホワイトボード アクティバについて

2枚で1つとして組み合わせることで、様々な角度で組み合わせたり発表したりできるようになります。



2. コンピューターの利用について

2.1. コンピューターの利用

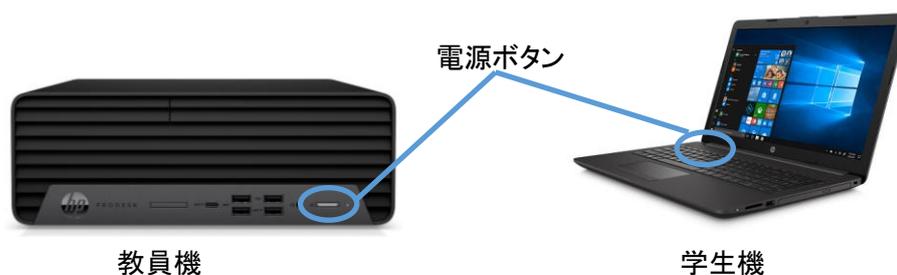
2.1.1. コンピューターの利用開始（サインイン）

コンピューターを利用するには電源投入、サインインする必要があります。

2.1.1.1. Windows 10 へのサインインについて

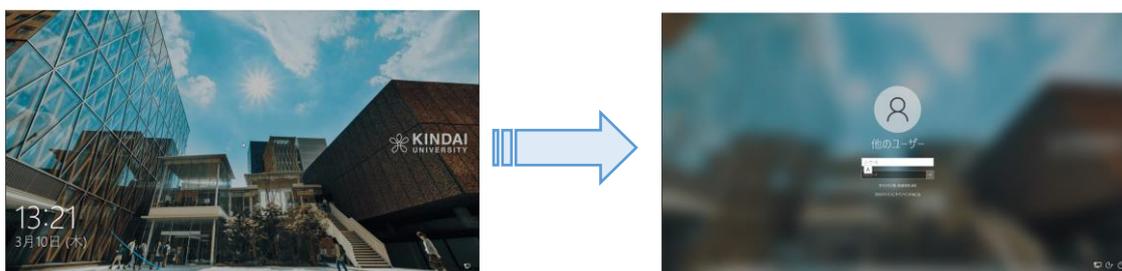
ご自身のユーザーID とパスワードをご用意ください。

- ① 電源ボタンを押すと電源が投入され Windows 10 が起動します。



- ② ご自身の ID で Windows へサインインします。

下記のような画面の状態、キーボードを押すとユーザーID とパスワードを入力する右のような画面が表示されます。



サインイン先に「KUDOS-AD」と表示されていることを確認し、KUDOS から配布されているユーザーID とパスワードを入力し、 ボタンをクリックします。

サインインすると以下のようなデスクトップ環境が利用できます。



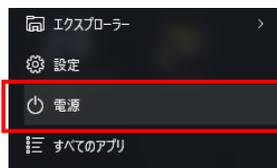
! **注意** ユーザー名とパスワードの入力を 20 回以上間違えると、ロックがかかります。数分間サインインできなくなりますので、ご注意ください。

2.1.2. コンピューターの利用終了（シャットダウン）

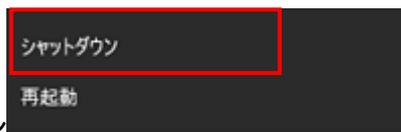
コンピューターの利用後はシャットダウンします。

2.1.2.1. Windows(シャットダウン)

① [スタート]ボタン  をクリックします。



② 「電源」  | WebとWindowsを検索 をクリックします。



③ [シャットダウン]ボタン  をクリックします。

! **注意** デスクトップに保存されたファイルは、コンピューターを再起動すると消去されます。
ドキュメントに保存されたファイルも同様にコンピューターを再起動すると消去されます。
必要なデータは、Zドライブ(全学ファイルサーバー)、または、所有の外部記録メディア(USB フラッシュメモリ等)に保存ください。
詳細は、「2.2.2 利用できるドライブ・ファイルサーバー」を参照ください。
なお、Zドライブは一人あたり 500MB です(2022 年 3 月 10 日現在)。

2.2. アプリケーションの利用

アプリケーションを起動するには以下の2通りの方法があります。

- デスクトップのアイコンをダブルクリック
- スタートメニューをクリック

利用できるアプリケーションの一覧は下記のとおりです。

項番	ソフトウェア名	ソフトウェア概要	バージョン	備考
1	Adobe Reader DC	PDF 閲覧	2021.011.20039	
2	Firefox	Web ブラウザ	97.0.1	
3	Google Chrome	Web ブラウザ	98.0.4758.102	
4	Microsoft Edge	Web ブラウザ	98.0.1108.62	
5	+Lhaca デラックス版	圧縮解凍	1.24	
6	MANDARA	地理情報分析支援	10.0.1.5	
7	MOS Access	MOS 試験対策ソフト	2019	別途ライセンス必要
8	MOS Excel	MOS 試験対策ソフト	365&2019	別途ライセンス必要
9	MOS PowerPoint	MOS 試験対策ソフト	365&2019	別途ライセンス必要
10	MOS Word	MOS 試験対策ソフト	365&2019	別途ライセンス必要
11	MS イタリア語 IME	文字入力補助		
12	MS フランス語 IME	文字入力補助		
13	MS 中国語(簡体字、中国)IME	文字入力補助		
14	MS 中国語(繁体字、台湾)IME	文字入力補助		
15	MS 韓国語 IME	文字入力補助		
16	Python	プログラミング言語	3.10.2	
17	RealPlayer	マルチメディアプレーヤ	20.0.7	
18	Access (Microsoft Office)	データベース	2019	
19	Excel (Microsoft Office)	表計算	2019	
20	Microsoft Office Professional Plus	オフィス	2019	
21	PowerPoint (Microsoft Office)	プレゼンテーション	2019	
22	Publisher (Microsoft Office)	簡易 DTP ソフトウェア	2019	
23	Windows 10 Education	オペレーションシステム	21H1	
24	Word (Microsoft Office)	文書作成	2019	
25	Zoom	ミーティング	5.9.3	
26	秀丸エディタ	テキストエディタ	v9.11	

26	美佳タイプトレーナー	タイピングソフト	Ver2.06	
管理系ソフトウェア				
27	CaLabo LX	授業支援	v5.1	
28	SEP	ウイルス対策		※瞬快保護対象外
29	V-CUBE	ミーティング	5.7.14.6550	教員機のみ、 ※瞬快保護対象外
30	WinDVD	動画再生ソフト	11	教員機のみ
31	瞬快	環境保護	12.0	

※上記ソフトウェア一覧は、2022年3月10日現在のものです。

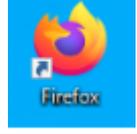
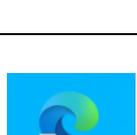
最新の状況については、KUDOS WEB「ソフトウェア・ハードウェア検索」よりご確認ください。

→ <http://kudos.kindai.ac.jp/guide/sh>

■ デスクトップアイコンからアプリケーションを起動

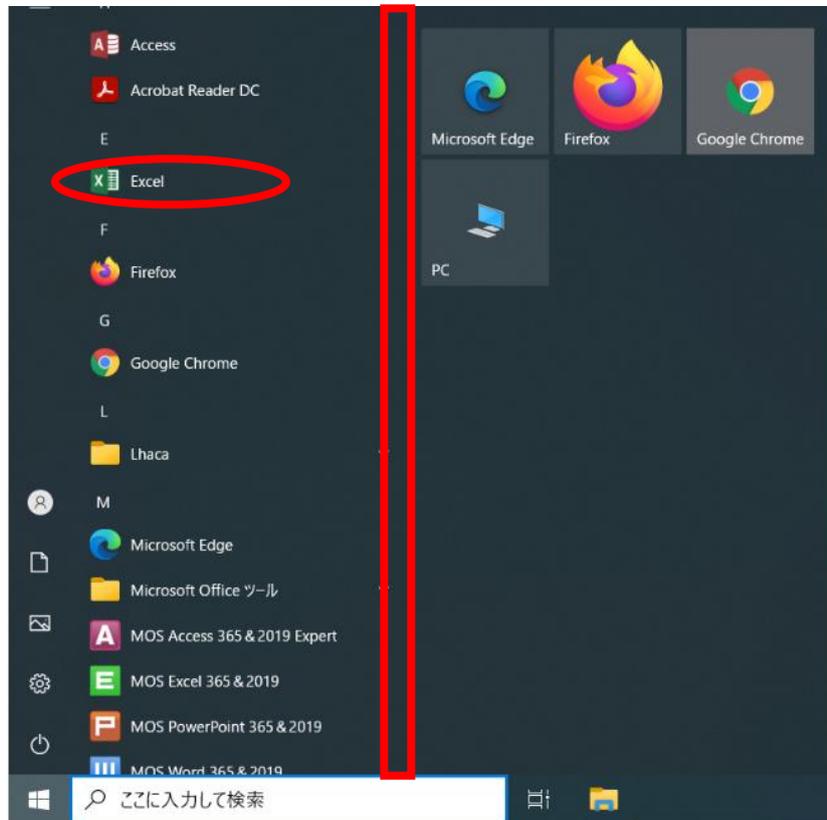
デスクトップアイコンの該当のアプリケーションをダブルクリックします。

表 2.2-1 デスクトップアイコン一覧

アイコン	ソフト(用途)	アイコン	ソフト(用途)
	文書作成ソフト Microsoft Word が起動します		表計算ソフト Microsoft Excel が起動します
	プレゼンテーション作成ソフト Microsoft PowerPoint が起動します		データベースソフト Microsoft Access が起動します
	インターネットブラウザ Firefox が起動します		全学ファイルサーバーの共有領域を開きます
	インターネットブラウザ Google Chrome が起動します。		ファイル圧縮・解凍ソフト +Lhaca です ファイルをアイコンにドラッグアンドドロップで使用します
	インターネットブラウザ Microsoft Edge が起動します		タイピングソフト MIKA タイプが起動します。
	テキストエディタ秀丸が起動します。		

■ スタートボタンからアプリケーションの起動

- ① [スタート]ボタンより「アプリケーション名」の順に選択し、目的のアプリケーション名をクリックします。



ポイント

プログラム一覧に目的のアプリケーションが見つからない場合には、スクロールバーをスクロールします。また、フォルダー  はクリックして開きます。

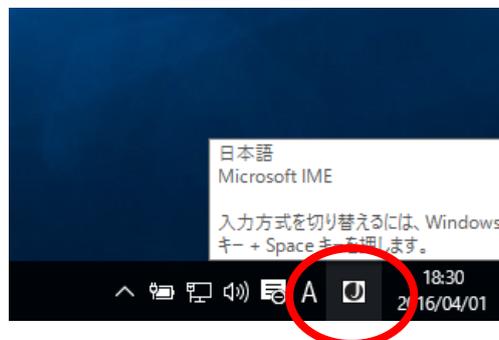
2.2.1. IME（Input Method Editor）による言語の変更

IME には以下の言語がインストールされています

- ・日本語
- ・イタリア語（米国）
- ・フランス語（オーストラリア）
- ・中国語（簡体字、中国語）
- ・中国語（繁体字、台湾）
- ・韓国語

以下の手順で言語の切り替えを行います。

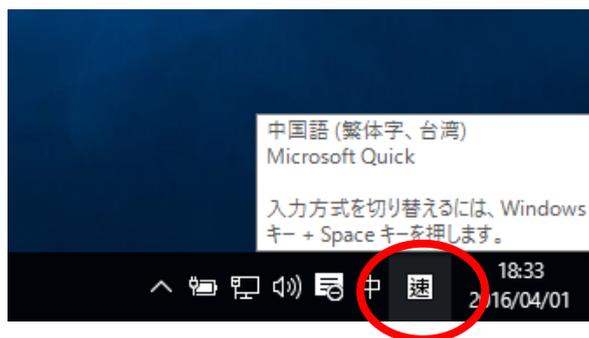
- ① タスクトレイの IME アイコンをクリックします。



- ② インストールされている言語が表示されます。使用したい言語を選択します。



③ 選択した言語が表示されます。



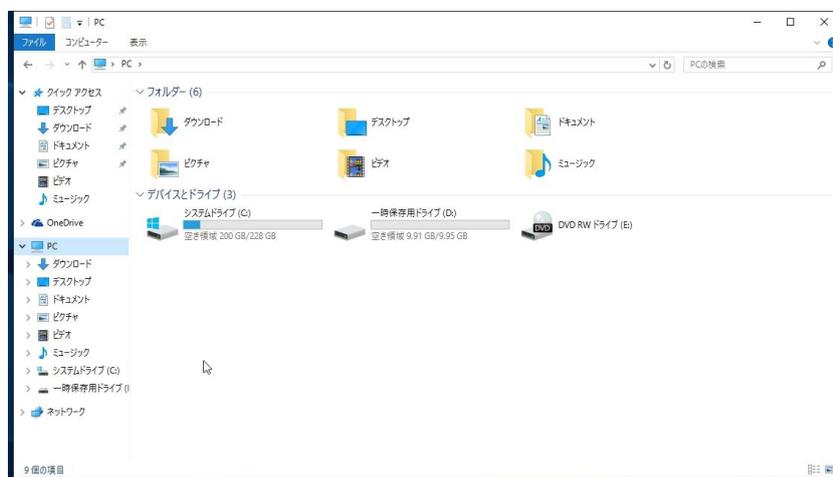
2.2.2. 利用できるドライブ・ファイルサーバー

C-311～C-314 では以下の各ドライブが割り当てられています。
ファイルサーバーの利用は Xドライブと Zドライブです。

表 2.2-2 ドライブ一覧

ドライブ	説明
C	OS やアプリケーションのためのシステムドライブです。 再起動すると、初期状態に戻るため、保存データは全て破棄されます。
D	一時領域です。再起動を行ってもデータは消えませんが毎週月曜日早朝にすべて削除します。
E	CD-R/RW、DVD±R/RW、が利用できる DVD ライターです。
X	全学ファイルサーバーの共有領域 Learning フォルダです。 教材提示・レポート提出などに利用できます。 利用に関しては教室授業担当員に確認してください。
Z	全学ファイルサーバーの個人用ホームディレクトリーです。 必要なファイルは、ここに保存します。(500MB です。2022 年 3 月 10 日現在)

利用可能なドライブやファイルサーバーを確認するには、サインイン後、[スタート]ボタンより[コンピューター(PC)]をクリックしてください。



! 注意

Cドライブ(デスクトップ・マイドキュメントフォルダも含まれます)に保存されたファイルはPCを再起動すると消去されます。

Cドライブに保存されたデータに関しては保証いたしかねますので注意してください。

教室内のPCで作成したファイルなどのデータは全学ファイルサーバー(Z:)へ保存してください。

2.2.2.1. 各ドライブ(外部記憶メディア)の利用方法

! 注意

USB メモリ、SD カード、CD-R などの可搬型記憶装置の使用は、ウイルス混入・感染及び紛失のリスクが高いため、個人情報を含む機密性の高いデータの取り扱いは禁止します。

情報機器間のデータのやり取りを行う場合、2 段階認証(多要素認証)設定済みアカウントにて、Google ドライブや KUDOS BASKET 等を利用してください。

Google ドライブの利用については、

下記、利用マニュアルの(29 ページ目:7. Google ドライブの利用)を参照してください。

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_3_12.pdf

KUDOS BASKET の利用は、下記、利用マニュアルを参照してください。

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_80_2.pdf

周辺機器利用の詳細については、

KUDOS WEB「情報システム利用ガイドライン(8 条 10 項)」を参照してください。

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/pdf/manual_3_14.pdf

USB メモリの利用

USB フラッシュメモリなど USB 機器が利用できます。

USB メモリを USB ポートに差し込みます。

「コンピューター」の「デバイスとドライブ」に「USB ドライブ」が表示され、USB メモリが利用できます。

USB メモリの利用を終了して PC から取り外す場合は、次の手順で操作します。

USB メモリを参照しているウィンドウをすべて終了します。

タスクバー右端のタスクトレイ表示部分の  をクリックします。

「●●の取り出し」をクリックします。

※「●●」には USB メモリの名称が入ります。

コンピューター本体から USB メモリを取り外します。

2.2.2.2. ファイルサーバーの利用方法

PC にサインインすると全ユーザーに共通で学内ファイルサーバーが利用できます。

■ ホームディレクトリー(Z:)

全学ファイルサーバーにある個人用ディレクトリーです。

- ファイルを保存するには
 1. 任意のアプリケーションから保存するには、保存コマンドより[保存場所]に「Zドライブ」を選択します。
 2. 保存元ファイルのフォルダー画面をデスクトップに表示している場合には、保存したいファイルを選択して右クリックし、ショートカットメニューより「Z:ドライブ」をクリックします。

- ファイルを開くには
 1. [スタート]メニューより[エクスプローラー]をクリックしてし、左ツリーペインの「Z ドライブ」→該当ファイルの順にダブルクリックします。
 3. 開くファイルのフォルダー画面をデスクトップに表示している場合には、保存したいファイルを選択して右クリックし、ショートカット一覧より「Z:ドライブ」をクリックします。

- 使用容量または空き容量を確認するには
 - 1.[スタート]メニューより[コンピューター]をクリックしてコンピューターを開き、「Z ドライブ」アイコンにて右クリックし、「プロパティ」を選択します。

※利用可能な容量は 500MB です(2022 年 3 月 10 日現在)

■ 全学 Learning フォルダー(X:)

授業に関する教材の教員からの提示や、学生からのレポート提出等に利用できます。

ご利用に関しては教室授業担当員にご確認ください。

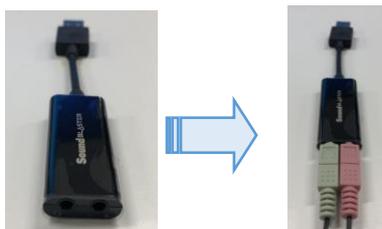
2.2.3. 音声の利用（貸出ヘッドセット）

PC から出力される音を聞く場合、またはマイクを利用するには、ステレオヘッドセットを利用します。

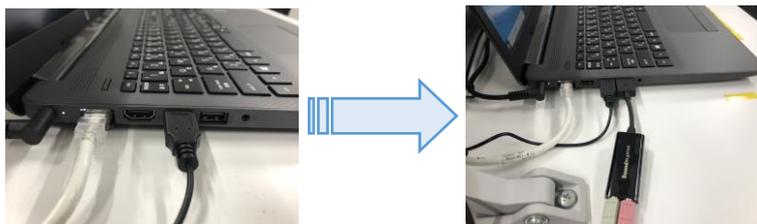


1. インフォメーションより、ヘッドセット および、USB サウンドユニット を貸し出していただきます。

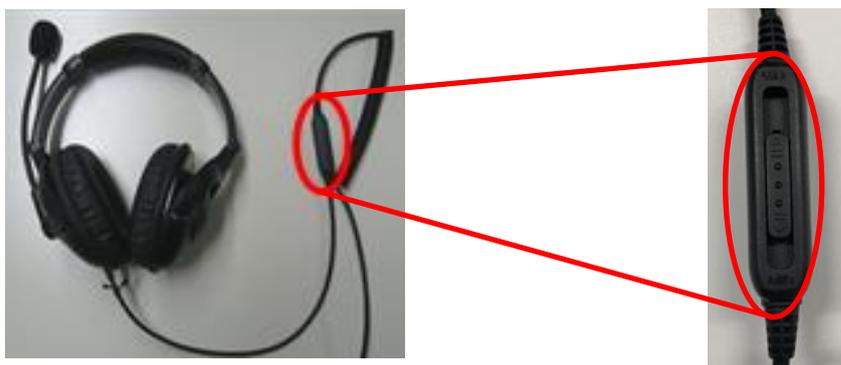
2. 貸し出していただいたヘッドセットと USB サウンドユニットを接続します。



3. USB サウンドユニットを PC の空いている USB TypeA のポートに接続します。



音量の調整は、ヘッドセットのボリュームを動かすことでヘッドセットの音量を変えることができます。また、タスクバーの「スピーカー」ボタンをクリックし、スライダーにて音量調整します。





2.2.4. 教員用 PC について

教員用 PC は教員用権限のあるユーザーのみサインインできます。

2.2.5. 留意事項

PC 利用後は「シャットダウン」をしてください。

! 注意

シャットダウン前には必要なデータが全学ファイルサーバーのホームディレクトリーまたは外部記憶メディアに保存したことを確認してください。

2.3. ドキュメントシステムの利用

教室には、KUDOS Print に対応した複合機が設置されています。

授業中はポイントを消費せずに印刷できますが、自由利用時ではポイントを消費して印刷する必要があります。

スキャナー機能も利用可能です。

2.3.1. KUDOS Print に対応した複合機の利用

KUDOS Print に対応した複合機は時間帯別に以下のモードが設定されています。

No	モード名称	説明
1	ポイントモード	自由利用となっている教室に設定されているモードです。ポイントモードでは印刷を行うとプリント実績値が加算されます。プリント実績値がプリント上限値に達している場合や、プリント上限値を超えるような印刷を行おうとした場合、そのままでは印刷できませんのでポイントを別途購入する必要があります。 プリント実績値とは:「どれだけ印刷したか」を示す値です。 プリント上限値とは:「どれだけ印刷できるか」を示す値です。
2	授業モード	授業中の教室に設定されているモードです。 授業モードでは印刷を行ってもプリント実績値が加算されることはありません。 また、プリント実績値がプリント上限値を超過していても印刷できます。

2.3.2. KUDOS Print に対応している複合機の一覧

- 1) KUDOS Print に対応している複合機の一覧は以下のとおりとなります。

表 2.3-2 複合機一覧

教室名	装置名	ホスト名	プリンター表示名
C-311	複合機	MFC3C311001	C 館_C-311_1 号機
			C 館_C-311_1 号機(予備)
C-312	複合機	MFC3C312001	C 館_C-312_1 号機
			C 館_C-312_1 号機(予備)
C-313	複合機	MFC3C313001	C 館_C-313_1 号機
			C 館_C-313_1 号機(予備)
C-314	複合機	MFC3C314001	C 館_C-314_1 号機
			C 館_C-314_1 号機(予備)

※プリントサーバーは2台構成となっており、通常利用しているプリントサーバーに不具合が発生した場合、印刷ができなくなります。そのため 2 台目のプリントサーバー配下にある表示名が（予備）となっているプリンターを利用し印刷を行ってください。

ポイント

教室の複合機はポイント管理方式(KUDOS Print)に対応しています。

KUDOS Print の利用については、KUDOS Web の KUDOS Print 説明ページより「KUDOS Print(PC 教室)利用マニュアル」を参照してください。

<https://kudos.kindai.ac.jp/service/print/pcroom>

2.3.3. スキャナーの利用

ポイント

KUDOS Print に対応した複合機のスキャナー利用については、

KUDOS Web の KUDOS Print 説明ページより「KUDOS Print(PC 教室)利用マニュアル」を参照してください。

<https://kudos.kindai.ac.jp/service/print/pcroom>

3. 授業支援システム 概要

授業支援システムは、以下により構成されます。

1. 画像・音声提示装置による各機能

教卓上の「操作パネル」を操作することで、学習者に教材となる画像や音声を提示することができます。「表 3-1 画像・音声提示装置による機能一覧」の各機能を利用できます。

2. 授業支援ソフトウェアによる各機能

教員 PC にセットアップされた授業支援ソフトウェアの制御画面を操作することで、出席管理や学習者 PC の操作禁止など「表 3-2 授業支援ソフトウェア(CaLabo LX)による各機能一覧」、の各機能を利用できます。

また、授業支援ソフトウェアとして、CaLabo LX を導入しております。

表 3-1 画像・音声提示装置による機能一覧

機能名称		機能詳細
1	プロジェクター画像送出	教材画像を液晶プロジェクターに送出します。
2	音声送出、音量調整	送出教材音声やマイク音声をスピーカーに出力します。 また、音量調整も可能です。
3	教室統合	C-311とC-312、C-313とC-314 は教室統合が可能です。

表 3-2 授業支援ソフトウェア(CaLaboLX)による各機能一覧

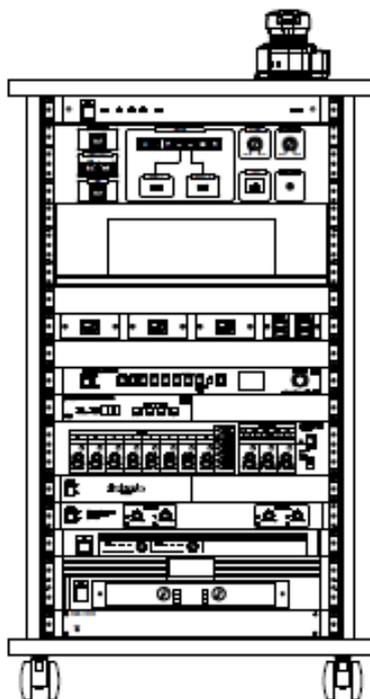
機能名称		機能詳細
1	先生画面送信	先生 PC の画面を学習者に送出します。先生 PC 画面はフルスクリーンとウィンドウサイズで表示できます。
2	画面受信／サムネイル表示	学習者の画面をモニタします。複数学習者を一度にモニタし、一覧表示もできます。「画面受信」から「リモート操作」への切り替えができます。
3	リモート操作	学習者の PC をリモートで操作します。
5	電子指示棒	先生画面転送時やリモート操作、発表時、PC 画面にマーキングできます。
6	グループワーク	先生が指定したグループまたは学習者が自主的に組んだグループで画面共有ができます。また、グループ内でファイルの受け渡しが可能です。
7	ファイル配布／回収	教材ファイルを配布し、学習者ごとに区別して回収できます。回収後に添削し、添削結果を返すこともできます。
8	ファイル提出	学習者が課題ファイルを先生に提出できます。
9	チャット	クラス全員またはグループ間でチャットボードによるチャットができます。
10	アナライザー	制限時間を設定した選択式問題を配布し、回答状況をリアルタイムに集計します。正解／不正解の学習者名もその場で確認でき、結果を CSV

		ファイルとして保存できます。
11	小テスト	選択／正誤／入力問題を組み合わせたテスト用紙を配布し、確認テストを実施できます。結果は自動採点し、学習者にフィードバックできます。学習者別／問題別の正解率や解答の明細を CSV ファイルに保存します。
12	評価シート	相互評価用の評価シートを配布し、プレゼンテーション等を評価します。結果はその場で集計し、結果を CSV ファイルに保存します。
13	先生呼び出し	質問があるときなど、学習者の操作で先生を呼び出します。
14	コールレスポンス	学習者からの呼び出しに対し、リモート操作やチャットで応答します。
15	自動抽選	現在出席している学習者または選択した学習者の中で1人だけ選んで名前を表示します。
16	操作ロック／ブラックアウト	学習者 PC のキーボード／マウス操作をロックします。また、モニタを非表示にします。
17	座席アイコン表示	座席アイコン上に学習者 PC のデスクトップ画面を表示します。
18	電源管理	学習者 PC の電源を一斉に ON/OFF/再起動/ログオン/ログオフします。
19	リモート起動	学習者 PC のアプリケーションを先生側から起動します。
20	アプリケーション監視	学習者 PC で現在実行中のアプリケーションを座席アイコンに表示します。
21	URL 一斉表示	既定のブラウザを起動し、先生が指定した Web サイトを一斉に表示します。
22	実行不許可	学習者 PC のアプリケーション起動やブラウザの利用を一時的に禁止します。
23	Web 制限／プログラム制限	学習者 PC で Web サイトの閲覧や指定したプログラムの利用を一時的に禁止します。
24	授業外インターネット制御	先生 PC が起動していない状態でも、学習者 PC の Web アクセスを制限できます。 スケジュール(曜日や特定の日付)の設定ができ、スケジュールによる制限が適用されている場合でも先生 PC で簡単に制限解除ができます。
25	出席票	授業開始時に出席票を表示し、出欠をとります。遅刻者も自ら出席できます。
26	出席結果保存	学習者の出席状況を CSV ファイルで保存します。
27	座席レイアウト	教室の座席配置に合わせて自由にレイアウトできます。
28	グループ作成	学習者アイコンを選択し、アイコンにドラッグ&ドロップするだけで自由にグループを作成できます。授業中、自由にグループを変更できます。
29	コントローラ表記	先生 PC のコントロール画面表記で日本語／英語／中国語を切り替えられます。

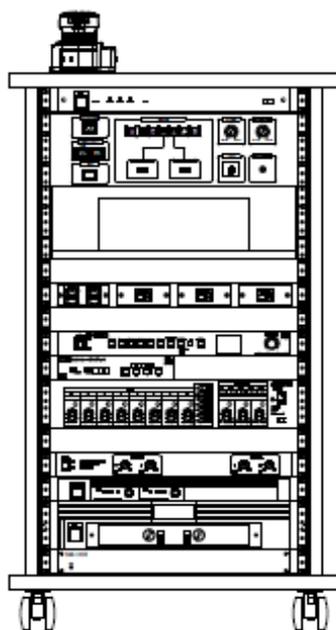
各機能の詳細については、別紙「CaLaboLX 簡易マニュアル」を参照してください。

3.1. 画像・音声提示装置による各機能

3.1.1. 機器の配置図



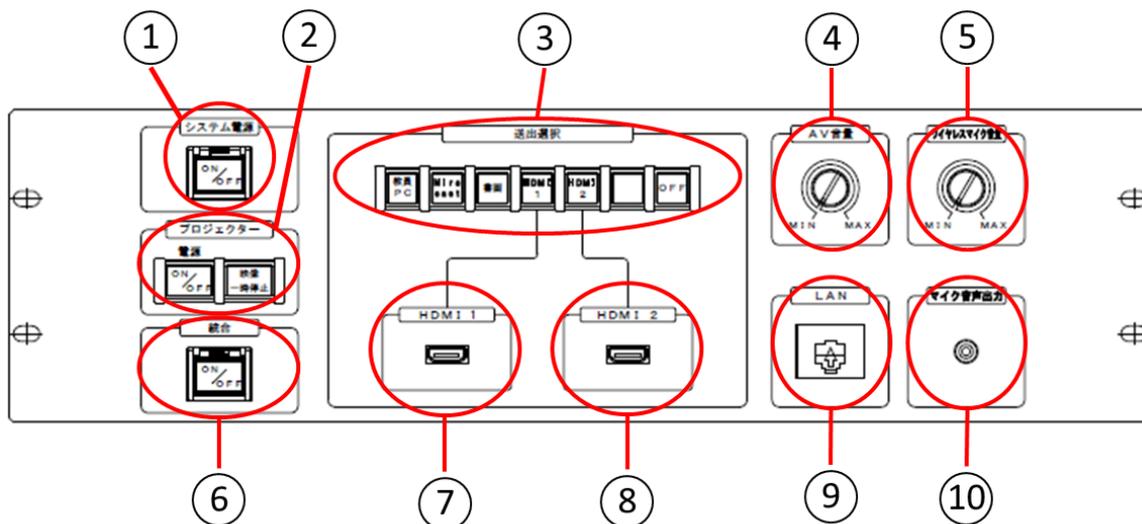
C-311、C-313



C-312、C-314

3.1.1.1. 操作パネル・入力パネルの説明

操作パネルは、次のボタンなどから構成されています。



- ① システム電源
- ② プロジェクター電源
- ③ 送出处スイッチ
- ④ AV 音量ボリューム
- ⑤ ワイヤレスマイク音量ボリューム
- ⑥ 統合スイッチ (C-311、C-313 教室のみ)
- ⑦ 入力端子 1: HDMI(映像・音声)
- ⑧ 入力端子 2: HDMI(映像・音声)
- ⑨ 情報コンセント
- ⑩ マイク音声出力

3.1.1.2. ワイヤレスマイクの種類

ワイヤレスマイクはハンドマイク・ピンマイクの2種類から構成されています。

ハンドマイク



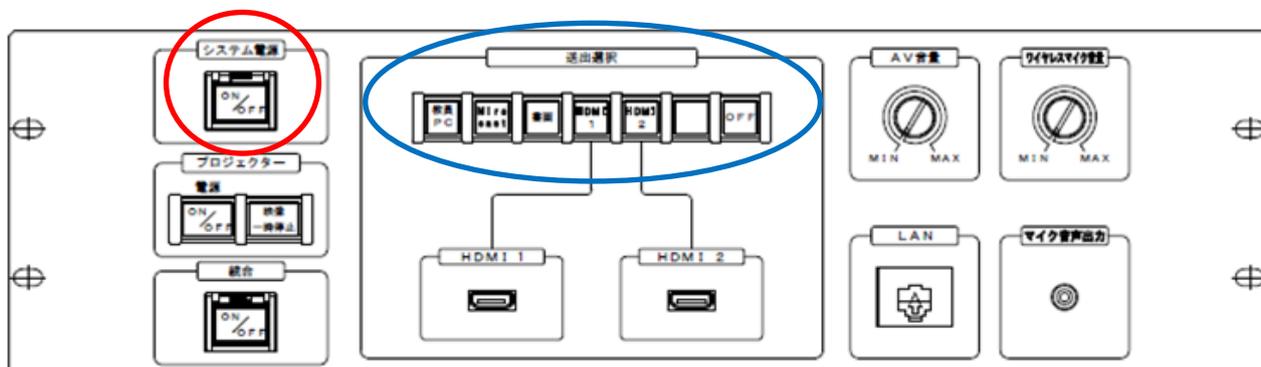
ピンマイク



3.1.2. システム電源の入れ方

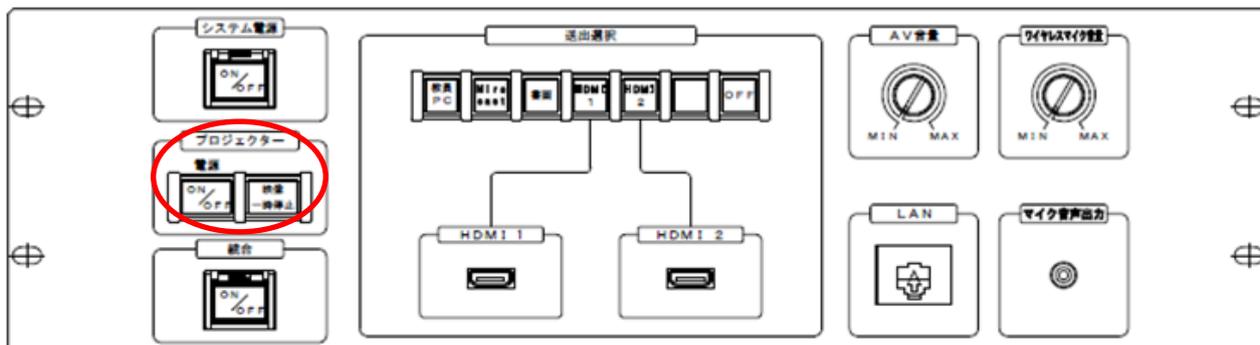
システム電源を入れないと、マイク、プロジェクターなど、すべてのハードウェアによるものが利用できません。

1. 「システム電源」○のスイッチを押します
2. 約 1 秒後電源が立ち上がり○の赤ランプが点灯し、機器選択スイッチ○の青ランプが点灯すればスタンバイ完了です



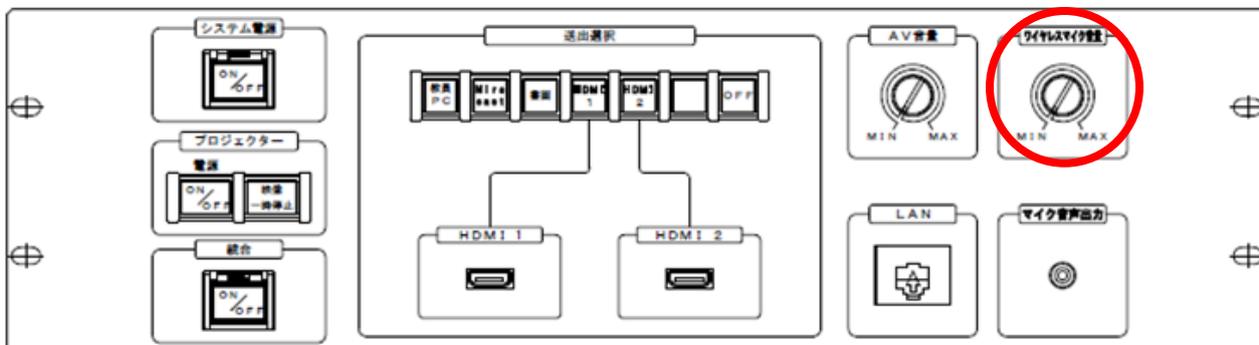
3.1.3. プロジェクターの電源の入れ方

1. 「プロジェクター電源」○の電源 ON/OFF スイッチを押します
2. ○の赤ランプが点灯しプロジェクターの電源が投入されます
3. プロジェクターが起動し、壁面ホワイトボードに映像が投影されます
4. 「映像一時停止」スイッチを押すことで、プロジェクターの映像を一時的に映さないようにします。



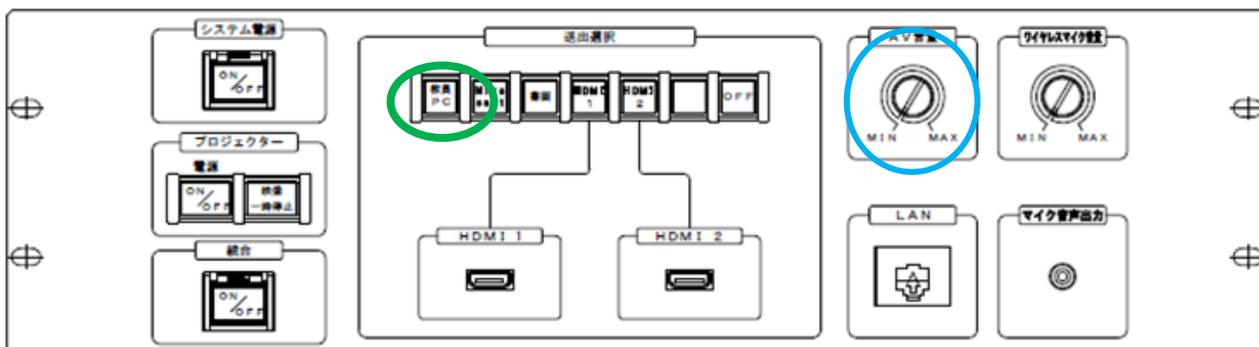
3.1.4. マイクを使用する

1. 「システム電源」をONにすると、無線マイク(ピン型・ハンド型)で話すことが可能です
2. マイク音量調整は○を回します



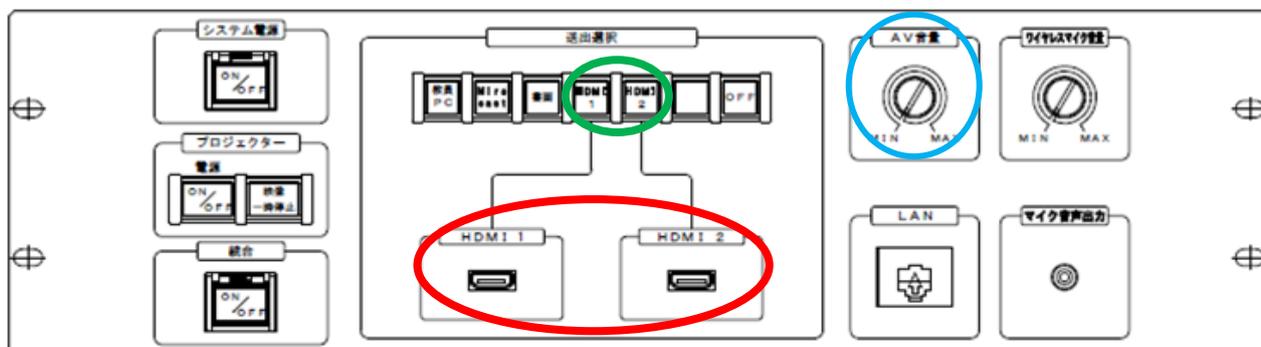
3.1.5. 教員 PC の映像・音声を出力する

1. 「操作パネル」の「送出選択」の「教員 PC」○を選択すると、モニターおよびプロジェクターに映像を出力します
2. 音量調整は○を回します



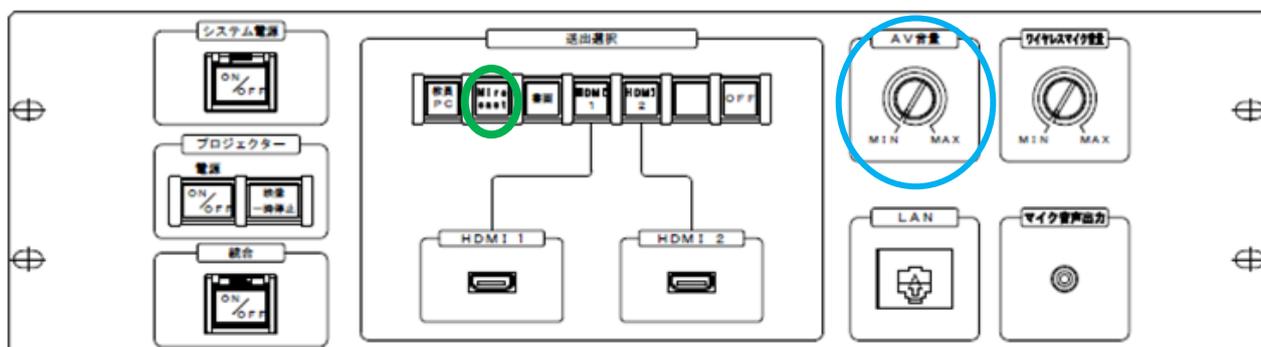
3.1.6. 持込端末の HDMI 端子を使用し、映像・音声を出力する

1. 「HDMI1」または「HDMI2」に HDMI ケーブルを接続します
2. 「操作パネル」の「送出選択」で「HDMI1 もしくは 2」○を選択すると、プロジェクターに映像が投影されます
3. AV 音量調整は○を回します



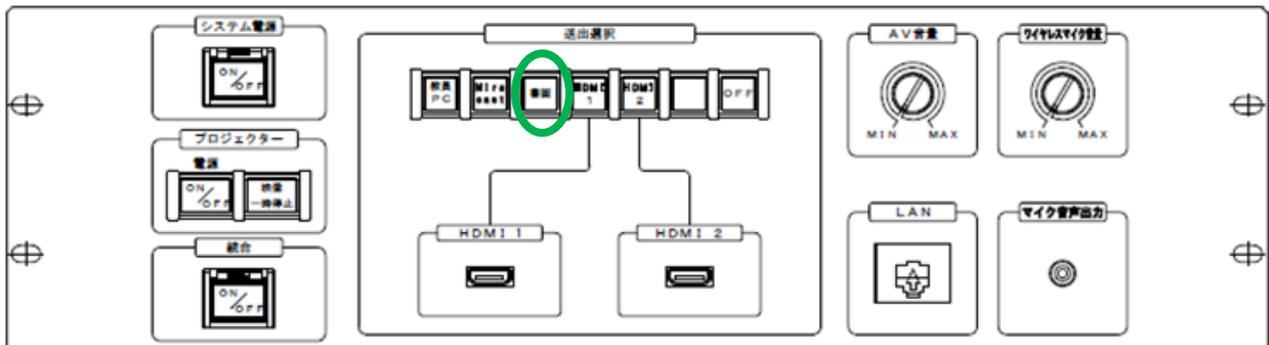
3.1.7. Miracast を使用し、映像・音声を出力する

1. 「システム電源」がONにされていることを確認します。(3.1.2 システム電源の入れ方 参照)
2. Miracast ボタン○を押します
3. 端末の Miracast 機能を有効にします
4. 各機器の無線映像送出の手順に従って「Miracast」へ接続してください
例: Windows10 での接続方法
 - ① 「Windows」キー及び「K」キーを押します。
 - ② 「モニター」や「プロジェクター」に表示されている「デバイス名」と、同じ「デバイス名」をクリックします。
 - ③ 「接続試行中」から「接続済み」になると接続成功です。
5. 接続が完了しプロジェクターに端末の画面が表示されます
6. 音量調整は○を回します



3.1.8. 書画を使用し、映像を出力する

1. 書画カメラの電源を押し、電源を ON にします。
2. 「書画」○を選択すると、モニターおよびプロジェクターに映像を出力します



3.1.9. 教室統合

教室統合の操作は、C-311、C-313の奇数の教室を親教室とし、統合の操作を行います。

C-312、C-314の偶数の教室は、子教室となり、統合される教室となります。

教室統合の組み合わせは、

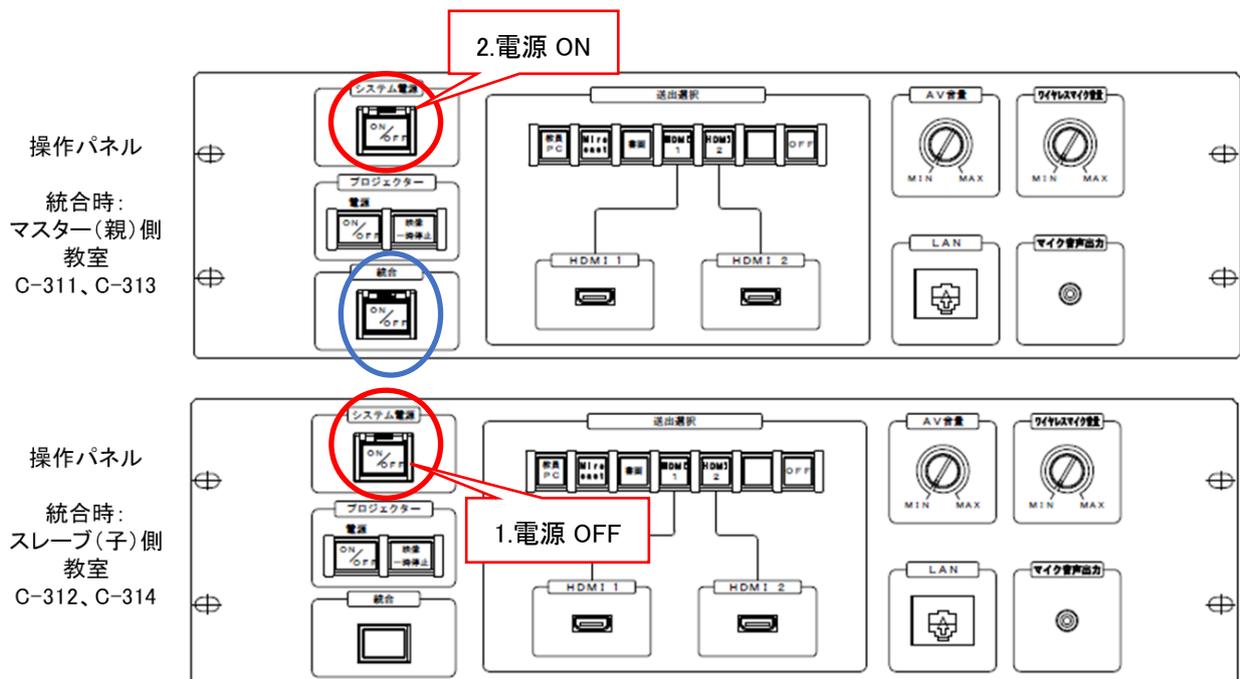
- ・ 311 と 312
- ・ 313 と 314

となります。

3.1.9.1. 教室統合の実施

操作方法

1. 「システム電源」がONにされていることを確認します。(3.1.2 システム電源の入れ方 参照)
 2. 子教室のシステム電源○が「OFF」であることを確認します
 3. 親教室のシステム電源○を「ON」にします
 4. 親教室の統合スイッチ○を押します
 5. 約 20 秒間統合スイッチ○が点滅(親・子教室共)し、統合スイッチ点灯後教室統合が完了します
- ※ 統合スイッチ点滅中、もう一度押しますと統合が中止されます。その後約 20 秒間統合操作は出来ません



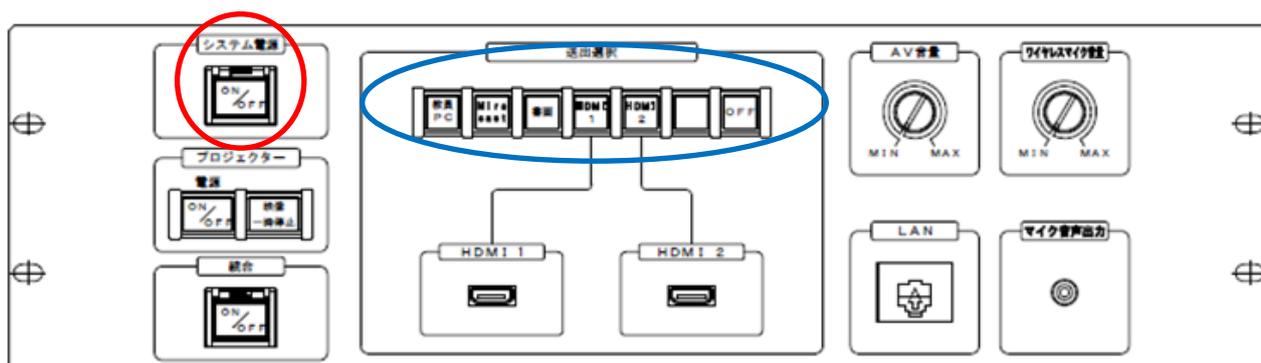
3.1.9.2. 教室統合の分離

操作方法

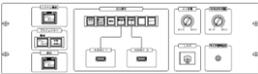
1. 親教室の統合スイッチを押します
2. 統合スイッチが消灯すれば分離完了です

3.1.10. システム電源の切り方

1. 「システム電源」○のスイッチを押します
2. ○のランプが消灯し、送出選択スイッチ○のランプが消灯すればシャットダウン完了です



4. 補足資料

種別		機種(型名) 詳細	画像
教員用端末 (4台)	本体	HP ProDesk 400 G7 SF/CT OS: Windows 10 Education CPU: Core i5-10500(3.1GHz) × 1 メモリ: 8GB DDR4 SDRAM SSD: 256GB M.2(NVMe) DVDライター ポータブル BDドライブ	
	プロジェクター	Panasonic PT-VMZ60J (WUXGA: 6000lm)	
	Miracast	ELECOM LDT-MRC02	
	マイク	赤外線ワイヤレスマイク(ハンド型) ATIR-T88 赤外線ワイヤレスマイク(ペンダント型) ATIR-T85	
	操作パネル	特型	
授業支援ソフト	CaLabo LX	-	
学生用端末 (144台)	本体	HP 250 G7/CT Refresh Notebook PC OS: Windows 10 Education CPU: Core i5-1035G1(1.00GHz~3.6GHz) × 1 メモリ: 8GB DDR4 SDRAM SSD: 256GB M.2(NVMe) DVDライター	
貸出機器	ヘッドセット(CZ530-A) USB サウンドユニット(SB-PLAY3) ワイヤレスマイク(ハンド型) ATIR-T880(予備) ワイヤレスマイク(タイピン型) ATIR-T850(予備) EZCast Ultra		